

パブリックコメント手続きの実施結果について

- ・ 案件名 第四次伊東市総合計画・第十次基本計画（案）
- ・ 実施期間 平成27年7月30日（木）から平成27年8月29日（土）まで
- ・ 担当課 企画部行政経営課
- ・ 意見提出数 1人・19件

「第四次伊東市総合計画・第十次基本計画（案）」に対していただいたご意見と市の考え方

No.	頁	意見内容	市の考え方
1	1	<p>1-1 地域医療の充実</p> <p><指標>市内医療機関の受診率</p> <p><現状と課題>に第九次基本計画で設定された平成27年度の目標値が達成されていない現状の分析を記載する。</p> <p><理由等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第九次基本計画では、平成27年度時点の目標値として、入院が41.7%、外来が91.1%となっていますが、平成26年8月現在では、入院が32.3%、外来が82.0%となっています。目標値と現状の乖離について分析を行い、それが第十次基本計画の<現状と課題>として記載されなければ、平成32年の目標値（第九次基本計画と同じ数値）を設定することの意味が薄れるのではないかと思います。 	<p>第四次伊東市総合計画・第十次基本計画の策定に当たっては、第十次基本計画が第四次伊東市総合計画の後期計画であることを踏まえ、第四次伊東市総合計画の基本理念や将来像、第九次基本計画の施策体系や指標を原則的に継承していますが、時代の変化や市民の意向等に柔軟な対応ができるよう必要に応じて見直しを行っています。</p> <p>第十次基本計画の<現況と課題>につきましては、当該分野の施策を進めるに当たり、平成27年度時点での現状と課題について市民と行政が認識を共有するため、簡潔に記述したものであり、個々の指標の達成度合についての現状分析については記述をしておりますが、第十次基本計画の指標の設定に当たっては、PDCA マネジメントサイクルに従い、毎年検証している実施計画の結果や、昨年度に実施した第九次基本計画の中間評価の結果も踏まえ、数値等を設定しているものです。</p>

2	1	<p>1-1 地域医療の充実</p> <p><指標>市内医療機関の医師、看護師数</p> <p><u><現状と課題>に第九次基本計画で設定された平成27年度の目標値が達成されていない現状の分析を記載する。</u></p> <p><理由等></p> <p>・第九次基本計画では、平成27年度時点の目標値として、医師が115人、看護師が534人となっていますが、平成26年12月現在では、医師が101人、看護師が516人となっています。医師の数は、平成20年12月時点で105人ですから、目標値に届かないばかりか後退していることとなります。目標値と現状の乖離について分析を行い、それが第十次基本計画の<現状と課題>として記載されなければ、平成32年の目標値（第九次基本計画と同じ数値）を設定することの意味が薄れるのではないかと思います。</p>	<p>第四次伊東市総合計画・第十次基本計画の策定に当たっては、第十次基本計画が第四次伊東市総合計画の後期計画であることを踏まえ、第四次伊東市総合計画の基本理念や将来像、第九次基本計画の施策体系や指標を原則的に継承していますが、時代の変化や市民の意向等に柔軟な対応ができるよう必要に応じて見直しを行っています。</p> <p>第十次基本計画の<現況と課題>につきましては、当該分野の施策を進めるに当たり、平成27年度時点での現状と課題について市民と行政が認識を共有するため、簡潔に記述したものであり、個々の指標の達成度合についての現状分析については記述をしておりますが、第十次基本計画の指標の設定に当たっては、PDCA マネジメントサイクルに従い、毎年検証している実施計画の結果や、昨年度に実施した第九次基本計画の中間評価の結果も踏まえ、数値等を設定しているものです。</p>
3	2	<p>1-1 地域医療の充実</p> <p><目標達成のための具体策></p> <p>「救急医療体制の充実」</p> <p>「伊東市民病院が担う第二次救急医療の高度化とその体制の充実を図り、…」に修正すべきである。</p> <p><理由等></p> <p>・第九次基本計画では、この部分は、「第二次救急医療の高度化を図り、…」となっています。「高度化」は医療機器の進展と相まって常にその更新が行われなければならない大事な部</p>	<p>第九次基本計画の「第二次救急医療の高度化」につきましては、これまでなかった集中治療部門を新市民病院に設置するとともに、救急部門等における医療機器の整備等を併せて進めてきたものであり、旧市民病院と比較し「高度化」を進めてきたものであります。</p> <p>医療機器の進展に伴い、常にその更新が行われなければならないことは認識しておりますが、その点につきましては、「第二次救急医療体制の充実」を図ることで対応していきたいと考えております。</p>

		分だと思えます。第九次基本計画にあった「高度化」の文言をわざわざ消す必要はないと思えます。	
4	2	<p>1-1 地域医療の充実</p> <p><市民の皆さんと一緒に進めていく方策></p> <p>「市民、医療機関…市民一人一人が地域医療の充実に取り組む意識を醸成する。<u>合わせて、伊東市民病院については、その管理運営に関する市民代表を交えた会議を一層効果的に活用する。</u>」に修正すべきである。</p> <p><理由等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第九次基本計画では、「市立伊東市民病院の管理運営に関する市民代表を交えた会議を設置する」とありますので、引き続きこの会議を活用することを記載すべきだと思います。 	<p>第九次基本計画では、市民の皆さんと一緒に進めていく方策として、「市立伊東市民病院の管理運営に関する市民代表を交えた会議の設置」を挙げていました。</p> <p>第十次基本計画においては、伊東市民病院の管理運営のみならず、今後の地域医療のあり方について、市民、医療機関、行政が連携し、協議する機会を創出し、市民一人一人が地域医療の充実に取り組む意識を醸成することとしています。</p> <p>具体的な手法として「市民代表を交えた会議」を活用した方がよいというご意見につきましては、今後の事業実施の段階で参考にさせていただきます。</p>
5	7	<p>1-4 保育の充実</p> <p><指標></p> <p>子どもたちが健やかに成長していると思う割合</p> <p>目標値 平成32年 <u>100.0%</u></p> <p>に修正すべきである。</p> <p><理由等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第九次基本計画では、平成32年の目標値が100.0%となっていますので、ここでは同じ目標値を掲げるべきではないでしょうか。 ・目標値を下げる場合には、<現状と課題>に第九次基本計画と比較して状況が変わっている旨の記載をすべきではないで 	<p>この指標の設定に当たっては、PDCA マネジメントサイクルに従い、毎年検証している実施計画の結果や、昨年度に実施した第九次基本計画の中間評価の結果も踏まえ、案では目標値を98.0%と設定していました。</p> <p>ご意見を踏まえ再検討した結果、引き続き100.0%を目指して諸施策を展開していくことが適当と判断し、<u>目標値を100.0%に修正します。</u></p>

		しょうか。	
6	13	<p>1-7 地域福祉の推進</p> <p><指標>社会福祉協議会会員数</p> <p><現状と課題>に第九次基本計画で設定された平成27年度の目標値が達成されていない現状の分析を記載する。</p> <p><理由等></p> <p>・第九次基本計画では、平成27年度時点の目標値として、19,000件となっていますが、平成26年度末現在では、17,138件となっています。また、平成22年9月時点で18,581件ですから、目標値に届かないばかりか後退していることとなります。目標値と現状の乖離について分析を行い、それが第十次基本計画の<現状と課題>として記載されなければ、平成32年の目標値を設定することの意味が薄れるのではないかと思います。</p>	<p>第四次伊東市総合計画・第十次基本計画の策定に当たっては、第十次基本計画が第四次伊東市総合計画の後期計画であることを踏まえ、第四次伊東市総合計画の基本理念や将来像、第九次基本計画の施策体系や指標を原則的に継承していますが、時代の変化や市民の意向等に柔軟な対応ができるよう必要に応じて見直しを行っています。</p> <p>第十次基本計画の<現況と課題>につきましては、当該分野の施策を進めるに当たり、平成27年度時点での現状と課題について市民と行政が認識を共有するため、簡潔に記述したものであり、個々の指標の達成度合についての現状分析については記述をしておりますが、第十次基本計画の指標の設定に当たっては、PDCA マネジメントサイクルに従い、毎年検証している実施計画の結果や、昨年度に実施した第九次基本計画の中間評価の結果も踏まえ、数値等を設定しているものです。</p>
7	13	<p>1-7 地域福祉の推進</p> <p><指標>社会福祉協議会会員数</p> <p>目標値 平成32年 <u>20,000件</u></p> <p>に修正すべきである。</p> <p><理由等></p> <p>・第九次基本計画では、平成32年の目標値が20,000件となっています。平成32年時点の目標人口は70,000人としており、第九次基本計画時点とそれほど大差はないわけで</p>	<p>第四次伊東市総合計画・第十次基本計画の策定に当たっては、第十次基本計画が第四次伊東市総合計画の後期計画であることを踏まえ、第四次伊東市総合計画の基本理念や将来像、第九次基本計画の施策体系や指標を原則的に継承していますが、時代の変化や市民の意向等に柔軟な対応ができるよう必要に応じて見直しを行っています。</p> <p>第十次基本計画の<現況と課題>につきましては、当該分野の施策を進めるに当たり、平成27年度時点での現状と課題に</p>

		<p>すから、同数の目標値を掲げるべきではないでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を下げる場合には、＜現状と課題＞に第九次基本計画と比較して状況が変わっている旨の記載をすべきではないでしょうか。 	<p>ついて市民と行政が認識を共有するため、簡潔に記述したものであり、個々の指標の達成度合についての現状分析については記述をしておりませんが、第十次基本計画の指標の設定に当たっては、PDCA マネジメントサイクルに従い、毎年検証している実施計画の結果や、昨年度に実施した第九次基本計画の中間評価の結果も踏まえ、数値等を設定しているものです。</p>
8	17	<p>2-1 消防体制の強化</p> <p>＜現状と課題＞</p> <p><u>平成28年4月から稼働する「広域消防組合」に関する伊東市から見た課題について記載する。</u></p> <p>＜理由等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広域消防組合」は伊東市の安全、安心にとって極めて大きな組織です。その組織のことが「連携を緊密にする」とだけしか記載されていないことは、基本計画としては大きな問題だと思います。 ・「広域消防組合」は伊東市にとっては初めての経験ですから、考えられる課題はいくつもあるのではないのでしょうか。 	<p>ご指摘のとおり、「広域消防組合」は平成28年4月から稼働する新組織でありますので、現時点で伊東市から見た課題があるとすれば、「広域消防組合」の稼働前に解決に向け、「広域消防組合」を構成する市町等で協議を行うべきものであり、第四次伊東市総合計画・第十次基本計画に記載すべき事項ではないと考えています。</p>
9	17	<p>2-1 消防体制の強化</p> <p>＜指標＞</p> <p>消防団員数 <u>削除</u></p> <p>＜理由等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の数は条例で定められていますので、指標とするのは無意味です。 	<p>消防団につきましては、目標である「安心して住めるまち・安心して泊まれるまちを目指す」ため、市民や来遊客の安全・安心を確保し、広域消防との連携を緊密に行うために必要不可欠であり、全国的に消防団員数が減少していることから、消防団員数を指標として定めることは適切であると考えています。</p> <p>第九次基本計画で指標としていた「火災件数」及び「市民等</p>

		<p>・第九次基本計画では、指標として「火災件数」及び「市民等による心肺蘇生法と AED の実施率」がありました。第十次基本計画では、これらが削除されています。目標である「安心して住めるまち・安心して泊まれるまちを目指す」ための指標はしっかり設定すべきです。</p>	<p>による心肺蘇生法と AED の実施率」につきましては、平成 28 年度以降は広域消防で把握・実施する指標となることから、第十次基本計画の指標として盛り込んでいません。</p>
10	18	<p>2-1 消防体制の強化 <目標達成のための具体策> <u>「広域消防組合」に関する伊東市がすべき具体策を記載する。</u> <理由等> ・消防団に関することだけの記載でどうして、安心、安全のまちを目指すことができるのでしょうか。別組織のことだから伊東市としてはあまり言及できないとでも思っているとすれば大きな間違いです。必ず伊東市の基本計画に記載されなければならない事項だと思います。</p>	<p>広域消防は、災害や事故の多様化及び大規模化、住民ニーズの多様化等の環境変化に的確に対応するため、出動体制や増援体制の強化、人員配置の効率化、住民サービスの向上を目指し実施することから、広域消防と消防団との連携強化を図ることにより、「安心して住めるまち・安心して泊まれるまち」を目指していくとの方策を記述しています。</p>
11	18	<p>2-1 消防体制の強化 <市民の皆さんと一緒に進めていく方策> <u>この項について具体策を記載する。</u> <理由等> ・安全、安心のまちをつくるには最も大事な項目です。どうしてこの項目自体がないのか全く意味不明です。伊東市は、市民と協働してまちづくりをするのではなかったのでしょうか。</p>	<p>第九次基本計画では、「救急車の適正利用」と「救命率の向上」の 2 点を「市民の皆さんと一緒に進めていく方策」と位置づけていましたが、これらは、平成 28 年度以降、広域消防の業務となります。</p> <p>消防団を中心とする非常備消防につきましては、市民と行政との協働でなく、地域で組織され地域に密着した団員で構成され取り組んでいることから、「市民の皆さんと一緒に進めていく方策」には位置づけていません。</p> <p>なお、市民との協働のまちづくりにつきましては、施策分野</p>

			5-1「市民参画によるまちづくり」に位置づけています。
12	19	<p>2-2 危機管理体制の充実</p> <p><現状と課題></p> <p><u>国民保護計画に関する事項を記載する。</u></p> <p><理由等></p> <p>・第九次基本計画にあった「国民保護計画」に関する記載が削除されています。危機管理の視点からは重要な部分をどうして削除してしまうのでしょうか。削除するような社会的な変化があったとも思えませんので、第九次基本計画と同様に記載すべきだと思います。</p>	<p>国民保護計画につきましては、<現状と課題>において、「武力攻撃などの様々な危機も予想されます…」と記述し、第九次基本計画と同様、危機管理の必要な分野の1つとして引き続き捉えています。</p>
13	20	<p>2-2 危機管理体制の充実</p> <p><目標達成のための具体策></p> <p><u>国民保護計画に関する事項を記載する。</u></p> <p><理由等></p> <p>・第九次基本計画にあった「国民保護計画」に関する記載が削除されています。危機管理の視点からは重要な部分をどうして削除してしまうのでしょうか。削除するような社会的な変化があったとも思えませんので、第九次基本計画と同様に記載すべきだと思います。</p>	<p>本市では、平成24年6月に「伊東市国民保護計画避難ハンドブック」を作成し、「武力攻撃事態」や「緊急処理事態」が発生した場合の対処法について周知を図るなど、第九次基本計画に記載した事項について取組を進めてきました。</p> <p>ご意見を踏まえ再検討した結果、<u>「目標を実現するための具体的な方策」の「危機管理体制の強化」の中に、「伊東市国民保護計画に基づき、武力攻撃等から市民を保護し、市民生活への影響を最小とするための保護措置を、本市が長年培ってきた防災に関する知識、経験等を活かし、的確かつ迅速に実施する。」との表現を追加します。</u></p>
14	47	<p>3-4 生涯学習活動の推進</p> <p><目標達成のための具体策></p> <p>図書館機能の充実</p>	<p>図書館建設の検討を行う際には、一般論としての検討ではなく、建設候補地の購入も踏まえた上で、調査、研究を進めていくことを想定していますので、あえて「具体的な建設候補地に</p>

		<p>…図書館建設について、<u>具体的な建設候補地に即して調査、研究を進めていく。</u>…</p> <p>に修正すべきである。</p> <p><理由等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単なる調査、研究では、一般論として図書館建設を考えていますということと同じです。具体的な建設候補地買収の予算が成立していることに鑑み、「具体的な建設候補地に即して」という記載を挿入すべきだと思います。 	<p>即して」という表現を挿入する必要はないものと考えています。</p>
15	52	<p>3-6 歴史・芸術文化の振興</p> <p><目標達成のための具体策></p> <p>次の記載を追加する。</p> <p><u>「文化振興基本条例の効果的な運用」</u></p> <p><u>平成28年4月1日から施行される「伊東市文化振興基本条例」を効果的に運用し、本市における文化の振興を一層充実、発展させる。</u></p> <p><理由等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史・芸術文化の振興」の基本となる条例である「伊東市文化振興基本条例」が、第十次基本計画が開始される平成28年4月1日と同日に施行されることから、「目標達成のための具体策」に追加すべきだと思います。 	<p>第十次基本計画の全体の構成の観点から、他の分野との整合性を図るため、個別の条例名の引用を行わないこととしています。「歴史・芸術文化の振興」の充実や発展につきましては、記載されている方策で網羅されていると考えています。</p>
16	57	<p>4-1 観光の振興</p> <p><指標>観光客数</p> <p><現状と課題>に第九次基本計画で設定された平成27年度</p>	<p>第四次伊東市総合計画・第十次基本計画の策定に当たっては、第十次基本計画が第四次伊東市総合計画の後期計画であることを踏まえ、第四次伊東市総合計画の基本理念や将来像、第</p>

		<p><u>の目標値が達成されていない現状の分析を記載する。</u></p> <p><理由等></p> <p>・第九次基本計画では、平成27年度時点の目標値として、680万人となっていますが、平成26年現在では、628万人となっています。また、平成22年時点で659万人ですから、目標値に届かないばかりか後退していることとなります。目標値と現状の乖離について分析を行い、それが第十次基本計画の<現状と課題>として記載されなければ、平成32年の目標値（第九次基本計画と同じ数値）を設定することの意味が薄れるのではないかと思います。</p>	<p>九次基本計画の施策体系や指標を原則的に継承していますが、時代の変化や市民の意向等に柔軟な対応ができるよう必要に応じて見直しを行っています。</p> <p>第十次基本計画の<現況と課題>につきましては、当該分野の施策を進めるに当たり、平成27年度時点での現状と課題について市民と行政が認識を共有するため、簡潔に記述したものであり、個々の指標の達成度合についての現状分析については記述をしておりますが、第十次基本計画の指標の設定に当たっては、PDCA マネジメントサイクルに従い、毎年検証している実施計画の結果や、昨年度に実施した第九次基本計画の中間評価の結果も踏まえ、数値等を設定しているものです。</p>
17	63	<p>4-4 商工業</p> <p><指標>商品販売額</p> <p><u><現状と課題>に第九次基本計画で設定された平成27年度の目標値が達成されていない現状の分析を記載する。</u></p> <p><理由等></p> <p>・第九次基本計画では、平成27年度時点の目標値として、1,380億円となっていますが、平成24年現在では、918億円となっています。また、平成19年時点で1,313億円ですから、目標値に届かないばかりか後退していることとなります。目標値と現状の乖離について分析を行い、それが第十次基本計画の<現状と課題>として記載されなければ、平成32年の目標値を設定することの意味が薄れるのではないかと思います。</p>	<p>第四次伊東市総合計画・第十次基本計画の策定に当たっては、第十次基本計画が第四次伊東市総合計画の後期計画であることを踏まえ、第四次伊東市総合計画の基本理念や将来像、第九次基本計画の施策体系や指標を原則的に継承していますが、時代の変化や市民の意向等に柔軟な対応ができるよう必要に応じて見直しを行っています。</p> <p>第十次基本計画の<現況と課題>につきましては、当該分野の施策を進めるに当たり、平成27年度時点での現状と課題について市民と行政が認識を共有するため、簡潔に記述したものであり、個々の指標の達成度合についての現状分析については記述をしておりますが、第十次基本計画の指標の設定に当たっては、PDCA マネジメントサイクルに従い、毎年検証してい</p>

		ます。	る実施計画の結果や、昨年度に実施した第九次基本計画の中間評価の結果も踏まえ、数値等を設定しているものです。
18	63	<p>4-4 商工業の振興</p> <p><指標> 製造品出荷額</p> <p><u><現状と課題>に第九次基本計画で設定された平成27年度の目標値が達成されていない現状の分析を記載する。</u></p> <p><理由等></p> <p>・第九次基本計画では、平成27年度時点の目標値として、142億円となっていますが、平成25年現在では、98億円となっています。また、平成19年時点で132億円ですから、目標値に届かないばかりか後退していることとなります。目標値と現状の乖離について分析を行い、それが第十次基本計画の<現状と課題>として記載されなければ、平成32年の目標値を設定することの意味が薄れるのではないかと思います。</p>	<p>第四次伊東市総合計画・第十次基本計画の策定に当たっては、第十次基本計画が第四次伊東市総合計画の後期計画であることを踏まえ、第四次伊東市総合計画の基本理念や将来像、第九次基本計画の施策体系や指標を原則的に継承していますが、時代の変化や市民の意向等に柔軟な対応ができるよう必要に応じて見直しを行っています。</p> <p>第十次基本計画の<現況と課題>につきましては、当該分野の施策を進めるに当たり、平成27年度時点での現状と課題について市民と行政が認識を共有するため、簡潔に記述したものであり、個々の指標の達成度合についての現状分析については記述をしておりますが、第十次基本計画の指標の設定に当たっては、PDCA マネジメントサイクルに従い、毎年検証している実施計画の結果や、昨年度に実施した第九次基本計画の中間評価の結果も踏まえ、数値等を設定しているものです。</p>
19	65	<p>4-5 農林業の振興</p> <p><指標> エコファーマー数</p> <p><u><現状と課題>に第九次基本計画で設定された平成27年度の目標値が達成されていない現状の分析を記載する。</u></p> <p><理由等></p> <p>・第九次基本計画では、平成27年度時点の目標値として、148人となっていますが、平成26年度現在では、122人と</p>	<p>第四次伊東市総合計画・第十次基本計画の策定に当たっては、第十次基本計画が第四次伊東市総合計画の後期計画であることを踏まえ、第四次伊東市総合計画の基本理念や将来像、第九次基本計画の施策体系や指標を原則的に継承していますが、時代の変化や市民の意向等に柔軟な対応ができるよう必要に応じて見直しを行っています。</p> <p>第十次基本計画の<現況と課題>につきましては、当該分野</p>

	<p>なっています。また、平成22年度時点で138人ですから、目標値に届かないばかりか後退していることとなります。目標値と現状の乖離について分析を行い、それが第十次基本計画の〈現状と課題〉として記載されなければ、平成32年の目標値を設定することの意味が薄れるのではないかと思います。</p>	<p>の施策を進めるに当たり、平成27年度時点での現状と課題について市民と行政が認識を共有するため、簡潔に記述したものであり、個々の指標の達成度合についての現状分析については記述をしておりますが、第十次基本計画の指標の設定に当たっては、PDCA マネジメントサイクルに従い、毎年検証している実施計画の結果や、昨年度に実施した第九次基本計画の中間評価の結果も踏まえ、数値等を設定しているものです。</p>
--	---	---